

長野県 子ども会

No. 62

平成27年12月21日発行

長野県子ども会育成連絡協議会

長野市若里7丁目1番7号

長野県社会福祉総合センター内

TEL 026-225-0126

FAX 026-225-0133

Email:nakodomo-l@coffee.ocn.ne.jp



▲ 開会式
◀ 汐見先生基調講演



全体会群馬県子連取組発表
(郷土芸能、文化の保存と推進入木節発表)



表彰式

第49回全国子ども会育成中央会議・研究大会開催
— 全国子ども会連合会設立50周年記念式典 —

全子連設立50周年
記念式典に参加して

県子連副会長 小出 勇

平成27年10月17日(土)～18日(日)
群馬県渋川市において、標記の記念式典が行われました。

私は県子連役員として、全子連表彰対象者として参加してまいりました。

教職時代に習得した「不都合を愛して自己更新」をモットーに、子どもたちからエネルギーをいただきながら、指導者としての功績が認められての表彰でした。開会式で丸山全子連会長は参加者六百人を前にこれからの子ども会のテーマを

「シニア、ジュニア・リーダーが進める子どもの手による子ども会」と、「保護者の理解と参加で子ども会活動の活性化」そして「子どもたちに残し伝えたい自然と郷土伝統芸能」とし、これまでの子ども会活動の歴史を振り返るとともに子どもたちが元気な声を取り戻し、正しいものの見方、偏りのない社会的態度や習慣を身に着ける活動が、総意・工夫を重ね、末永く続くことを誓い合う機会としたいと挨拶されました。

設立50周年記念講演は、白梅大学学長の汐見稔幸氏により行われました。「町に子どもたちの声が聞こえなくなると、やがてその町は滅びる」という古代ローマ人の言葉を引用し地域教育力の再生を訴えられました。

平成27年度第48回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会開催

長野県子連副会長 宮林孝子

10月18～19日、第48回関東甲信越静地区子ども会育成研究協議会が群馬県渋川市で開催され、長野県から13名が参加しました。

開会式後の合同部会協議で、「子どもたちのための子ども会活動の充実・発展に向けて、育成会活動の原点に返ろう」の大会スローガンのもと、五つの部会に参加者が分散してワールド・カフェ方式で討議しました。
各分科会では、それぞれグループ分けし、テーマに沿った意見交換や一定時間でメンバーを変えながら同様の事を数回しました。

私は第四部会「連合組織としての都道府県・市町村の連合育成会のパイプをどう太くするか」に参加し、積極的な参画を促す会議法で他人の意見から多くのアイデアを得ました。

二日目は、全体会で各部の講師の先生から各部会で討議された内容にコメントを添えて発表がありました。話しながら書き込んだ模造紙は会場内に掲示され、他の部会の様子も知ることができ、有意義なものとなりました。
大会は次年度開催県、茨城県子連中川輝夫理事長の挨拶で閉会となりました。



平成27年度指導者講習会 南佐久地域で開催される

本年度の指導者講習会が、8月22日(土)小海町総合センターにおいて開催されました。

当地域は、過去においても県子連の行事等が行われた経緯はなく、地元の小海町、佐久穂町の皆さんの熱意によって実施することができました。

終了後、参加者の感想を伺ってみると「こんな催しを、もっと早く体験してみたかった」、「早速、地元での活動に生かしたい」等であり、よりきめ細かな活動を今後も続けていく必要性を強く感じたところです。

関プロ地区J・L大会に参加して

長野市教育委員会生涯学習課
西沢紗緒里

昨年の神奈川大会に続き、今年度は9月20～22日の日程で静岡県の朝霧高原において開催された静岡大会に参加させて頂きました。

静岡大会のテーマは「コミュニケーション」とのこと。大会前の事前学習でのイメージとして、昨年の神奈川大会とさほど変わらないのかな、という感覚で大会当日を迎えましたが、一味ちがうものでした。なかでも、普段交流の機会があまりない、子どもと大人との交流を図る「取材」という企画が随所に設けられて



おり、印象的でした。

取材は子どもたちが記者として、大人にインタビューをする形式で行われました。子どもたちは、指導者に体験談やアドバイスを尋ね、育成者へは要望などを相談していました。取材を通し、大人は実際に活動する子どもたちの本音が聞ける貴重な時間になりました。

今大会は、様々な子どもたちの考えや意見が聞け、大人もステップアップできた大会となりました。この経験を今後に生かしていきたいと考えております。

ジュニア・リーダーセミナー

第二回研修開催

九月五日～六日（土～日）の日程で今年度も国立信州高遠青少年自然の家において、総勢41名の参加者を得て第二回研修が開催されました。

昨年は一般参加者が少なかったことから、役員をはじめ地方・市町村の協力により大勢のリーダーの参加があり、充実した研修となりました。

以下は、全体を通した総評です。（抜粋）
 ・参加者が多くスタッフも気を抜かず、二日間を過ごせ成功であったと思う。良かった。

・スタッフの皆さん、始めはぎこちなかったが会を重ねるにつれ団結心が高まり、係同士の協力が成功に導いた。
 ・常に参加者のことを考えたスタッフの行動は、地元での活動・普段の生活の中で発揮できる宝物です。本当に「苦」労様でした。



ウォークラリー



レク



思い出作り

野外炊飯



KYT



KYT指導者養成講習会を終えて

安曇野市子連会長

山田 賢一

11月21日～22日の二日間、群馬県青少年会館を会場に、関東甲信越静地区の子ども会KYT中級指導者養成講習会が開催され、長野県からの3名を含め46名が受講しました。

講師は、全子連事務局長の杉浦隆氏で、全国の内実を十分に網羅し熟知されており、実に適切で有意義な時間を過ごしました。

講義内容に触れますと、杉浦氏はファシリテーター役に徹し、グループ活動を中心にアクティブラーニング（能動的学習）形式で、ワークショップ・ロールプレの連続であり、居眠りをしている余裕はなく、個々人が主体的・自発的に取組まざるを得ないカリキュラムでありました。

一例を挙げますと受講者一人ひとりが講師になった時を仮定しての「KYT四ステップ」の講義案を作り、グループの構成員それぞれが講師になり実践活動を行うというものでした。

全日程の全てが、自分自身のプラスとなり、特に印象深いのは次の三点です。

- ① 子どもの目線に立って具体的呼びかけをすること。例えば「気をつけろ」と言うだけでなく「雨の後で滑りやすいから無理するな」という表現。
- ② 冒険への挑戦をさせる時には個人差、

性差、発達段階を精神的な面からも考慮して子どもに接していくこと。

③ 諸活動の前に短時間で簡単にできる「五分間KYT」実施の取り組みの必要性。

結びに、子ども会活動では、活動そのものに喜びを感じ、その活動を通して日常生活を豊かにしていくこと。と同時に、活動を通して安全に対する態度・知識・技術をしっかりと身につけていってほしいと願っています。



H27.11/21～11/22 関プロ地区
 子ども会KYT中級指導者養成講習会
 （群馬県青少年会館にて）



子ども会の皆さん

全国子ども会 安全共済会 に

加入しましょう!

平成28年度から全国子ども会安全共済会長野県の加入時費用の金額が変わります。

平成27年度長野県子ども会育成連絡協議会通常総会にて、長野県子連運営費値上げを皆様にご承認いただきましたので、平成28年度から加入時費用が下記のように変わります。

- ・ご契約いただいた市町村(地区)子ども会連合組織に、単位子ども会ごとまとめてお申込みください。
- ・単位子ども会、市町村(地区)子連、長野県子ども会育成連絡協議会に所属する者が、次の加入時費用を納めることが必要です。

☆ 平成28年度加入時費用 (1人)・・・150円 (10月1日以降加入の場合・・・140円)

(内訳) 全国子ども会安全共済掛金・・・50円 (10月1日以降加入の場合・・・40円) } 70円 (10月1日以降加入の場合60円)
 全国子ども会連合会運営費・・・20円 (子ども会賠償責任保険料を含む)
 長野県子ども会育成連絡協議会運営費・・・80円
 (各種事業、安全教育、共済金請求事務、事前審査、名簿管理等の費用として)



平成28年度の手続きでご注意ください

1. 様式について

- (1) 項目追加 (対象様式：加入-11、加入-12)
 就学前3年以下の幼児の“保護者・祖父母又は親族”(以下、保護者等)を容易に判断できるように、保護者等の確認番号を記入する欄(名称=同伴保護者No)を追加しますので必ずご記入ください。
- (2) 表記変更 (対象様式：加入-11、加入-12、加入-13)
 「学区・地区子ども会名」と表記されている個所を、「学区・地区名」に変更します。

2. 平成27年度以前の様式の利用について

平成27年度様式は、平成28年度でも問題なく利用可能です。(就学前3年以下の幼児についての同伴保護者Noは空欄に要記載)なお、請求関係の様式は(審査対応もあり)極力平成27年度以降の様式をお使いください。

3. 平成28年度も継続して加入するために(平成28年4月1日0時からの加入について)

3月中にご契約(市町村・地区子連代表者)申し込みください。3月中にご契約いただきますと、長野県子連への加入時費用振込および名簿の提出は5月末日(5月31日着金)までお待ちできます。

お知らせ

平成28年度の主な事業

- 通常総会 5月28日(土・午前)
会場 長野バスターミナル会館
- 県育成研究協議会
5月28日(土・午後)
会場 長野バスターミナル会館
- 県ジュニア・リーダーセミナー
第1回研修 未定
- 第2回研修 9月3～4日(土・日)
会場 国立信州高遠青少年自然の家
- 県指導者講習会(日時 未定)
会場 中信会場 他一カ所
- KYT指導者講習会(日時 未定)
会場 北信会場 他一カ所
- 関プロ地区育成研究協議会
10月2～3日(日・月)
会場 ホテルレイクビュー水戸
(茨城県水戸市)
- 全国子ども会育成中央会議・研究大会
平成29年2月17～19日(金～日)
会場 久留米シティプラザ
(福岡県久留米市)

編集後記

日本の上空を国際宇宙ステーションが何度も通過し、天文ファンを沸かせました。

川上村出身の油井さんも五ヶ月の任務を終え無事帰還。県内の子どもたちにも多くの夢をくださり、感謝です。(K・N)